

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-46 国保組合支援事業 □支援部門						
主管課	保険年金課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族の安定した医療保障を図る。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
事業の対象者数	1,117人	1,153人	1,182人				
運営資源状況	決算値(千円)	78	81	118			
	(国・県)	0	0	0			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	78	81	118			
	人員配置数	0.1	0.1	0.1			
	人件費(千円)	819	890	890			
	協働のパートナー						
事務事業運営経費	総事業費(千円)	897	971	1,008			
	市民1人当りの経費(円)	5	5	6			
	対象者1人当りの経費(円)	803	842	853			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
国保組合支援事業	78千円	①効率性 △ ②妥当性 ○ ③有効性 △ ④公平性 △		⇒	□A □B □C ■D □E	
	事業の概要	保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合へ補助金を交付する。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	当該補助事業の廃止について対象団体の理解を得られていない。また、補助額の増額要望が毎年出ている。		
課題解決のための取組	各市の動向を確認しながら補助事業見直しに向けて検討した。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	当該補助事業を廃止できなかった。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 △	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		↓	課長等名	
		③有効性 △			D	保険年金課長
		④公平性 △				持田 浩史
		制度の縮小廃止に向けて関係団体の理解を得られるように努める。				

